

教育目標	「学園は、教える者と教えられる者が、相互の信頼によって相互に生かされる精神的な共同体」という理念の下、知・徳・体を錬成し、調和ある人間像を確立する。						
経営方針	(1) 「自律的な精神」、「思考力と創造的な知性と技量」、「自然愛や人間愛を大切に作る豊かな情操」を培う。 (2) 「日本人としての美徳を育て、実践的な社会性を養うとともに、国際化・情報化社会のフロントランナーとして、社会貢献できるフェアなリーダーとしての資質」を培う。						
重点目標	I 知育の推進	II 徳育の充実	III 健康な身体の育成	IV 豊かな生活の追求	V 家庭地域との連携	VI 生徒募集の充実	VII 教育施設設備の活用
評価項目	令和6年度具体的な方策または評価項目を評価する具体的な指標	令和5年度実施状況	学校自己評価		学校関係者評価		
			評価	教員コメント (73名) ▲：改善 ◇：提言	評価	評価委員コメント (9名) ▲：改善 ◇：提言	
一 知育の推進	<p>授業の充実と難関大学進学に向け啓発・学びの自覚向上</p> <p>① 数・英等で発展学習実施 3grp 編成と運行の工夫 英検 3/P2/2 級指導 (放課後等)</p> <p>② 国・数・英等で反復学習、底上げ推進 各単元の各問題演習の達成率共有</p> <p>③ 補習補強の柔軟な実施、自己学習力の育成 ICT活用：スタディサプリ運用の工夫 デジタル教材の運用の工夫 放課後プロジェクトの活用 : 放/P 各単元の各問題演習の未達成部分の補習授業のライブ配信</p> <p>④ 進路講演・キャリア教育等啓発指導・活動を実施 上級生、OB、進路担当、学年、外部講師招へい MIRAI Project (M/P) 時数増し 企業と提携しキャリア教育推進</p> <p>⑤ 学力推移調査前後の学級/学年指導 個別目標設定や情報共有 (中高関係職員)</p> <p>⑥ 授業計画、副教材の見直し</p> <p>⑦ 学習時間記録と把握 個別/一斉指導 フィードバック (FB) による 家庭との協働充実 一斉指導</p>	<p>① 各学年英数の3grp 習熟度編成を実施。時期、編成変え等は学年の実情に合わせた。各生徒の意志や学力向上をふまえ、柔軟な対応が欠かせない。</p> <p>② コミュニケーションによる情報共有によって目標を意識した。平素の学習に小テスト、課題、演習が適度に組み込まれており、堅実な学習が継続された。</p> <p>③ 放/Pは当初に登録を各HR 実施。2F 理科室・206/図書室後席/HR にて自主学習を主に、指名も織り交ぜた。会場では生徒は固定傾向、会場外 (HR) では同時間帯に学習する生徒が増加した。日時・時間・担当を固定化して良かった。ICT 活用についてはほぼ前年度の踏襲にとどまった。</p> <p>④ 2月に J3 対象進路講演、9月に J2 キャリア教育 (A/C 中) を実施。M/P は全学年に拡大。(株) トゥワイス・リサーチ・インスティテュートが提供する「TWICE PLAN」の「企業インターンワーク」を活用し、企業インターン体験活動を行った。課題を G/W で考え、解決策や提案を導き出す。後期 MD 等の時間で計画的に学習し、プレゼンに繋げた。</p> <p>⑤ 実力テストの結果に基づいて情報を共有し、事前事後指導や授業に活かした。学年・部内で学力向上に向け計画的に学習指導を継続したい。</p> <p>⑥ 副教材の変更は特になし。運用に調整を多少を行った。授業時数とシラバス内容について検討の余地あり。</p> <p>⑦ 学習計画指導や記録等を書き残す際の手だてを相談して定めておきたい。運用方法や周知については学校側から工夫し、公開していきたい。懇談会等々において説明報告していきたい。</p>	<p>A 23%</p> <p>B 61%</p> <p>C 7%</p> <p>D 9%</p>	<p>・習熟度別クラスはうまく機能していると思う。</p> <p>・学力差が大きい中でも、東京大学見学等、難関大学への意識を高めている。</p> <p>・自発性を生むような、主体的な授業ができていると感じる</p> <p>・授業を確実に積み上げていくことができている。配信授業は、学習機会は取れるが、体調不良者には要望できない。</p> <p>◇内進生の進学実績や現状把握を、学校案内冊子等を用いて、もっと理解させる場を設けてみてはどうか?</p> <p>◇2年生から習熟度別にグループを分けて授業しているが、中1後期くらいから実施したほうがいい。</p> <p>◇受験からその学年をどうしていくかをロードマップに示した方がよい。</p>	<p>A 0%</p> <p>B 88%</p> <p>C 0%</p> <p>D 12%</p>	<p>・習熟度別クラスがうまく機能しているのはとても良いと思う。</p> <p>・平素の学習に小テスト、課題、演習が適度に取り組みられて、堅実な学習が継続されたのは素晴らしいと思う。</p> <p>・状況に応じ調整を行いながら柔軟な対応がされていると思う。</p> <p>◇早い時期からの高い目標がもてる様な工夫をしてもらいたい。</p> <p>▲中高の情報共有をしっかりとおこなってもらいたい。</p>	

<p>外部模試等で 学力把握</p> <p>在籍 J3 68名 J2 62名 J1 65名</p>	<p>① ベネッセ学力推移調査三科目受験と事後指導</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>64以上</td> <td>60以上</td> <td>50以上</td> <td>40以上</td> </tr> <tr> <td>J3</td> <td>1(3)%</td> <td>6(5)%</td> <td>30(21)%</td> <td>48(38)%</td> </tr> <tr> <td>J2</td> <td>3(3)%</td> <td>6(4)%</td> <td>32(24)%</td> <td>45(40)%</td> </tr> <tr> <td>J1</td> <td>3(5)%</td> <td>4(8)%</td> <td>32(26)%</td> <td>40(55)%</td> </tr> </table> <p>※J1は第一回目以降検討 ※それぞれの数値は単純の数値を表す ※()内は令和5年度の目標数値</p> <p>② 実力確認テスト(明誠高校入試)受験</p> <p>J3: 目標進路の学力水準達成 五科目 J2: 基礎基本問題の習熟と確認 三科目</p> <p>③ 英検受験</p> <p>年度末(2月)の時点</p> <table border="1"> <tr> <td>J3</td> <td>準2級以上</td> <td>19(14)%</td> <td>3級</td> <td>39(46)%</td> </tr> <tr> <td>J2</td> <td>3級以上</td> <td>29(40)%</td> <td>4級</td> <td>43(35)%</td> </tr> <tr> <td>J1</td> <td>4級以上</td> <td>32(35)%</td> <td>5級</td> <td>45(45)%</td> </tr> </table> <p>※J1は第一回目以降検討 ※それぞれの数値は単純の数値を表す ※()内の数値は令和5年度の目標数値</p>		64以上	60以上	50以上	40以上	J3	1(3)%	6(5)%	30(21)%	48(38)%	J2	3(3)%	6(4)%	32(24)%	45(40)%	J1	3(5)%	4(8)%	32(26)%	40(55)%	J3	準2級以上	19(14)%	3級	39(46)%	J2	3級以上	29(40)%	4級	43(35)%	J1	4級以上	32(35)%	5級	45(45)%	<p>① J3 9月② 64～0% 60～7% 50～20% 40～43% 4月① 64～0% 60～4% 50～14% 40～45% 最上位層育成とボトムアップに課題が残った。 ボトムアップのための啓発と環境づくり、毎日の具体的な対策が大事であることを改めて痛感した。</p> <p>J2 1月③ 64～2% 60～4% 50～29% 40～47% 9月② 64～3% 60～3% 50～20% 40～47% 4月① 64～0% 60～3% 50～26% 40～32% 学習意欲等徐々に向上している流れもあり、適切に活かしていきたい。改善されない者も根気強くケアしていきたい。</p> <p>J1 1月③ 64～2% 60～5% 50～34% 40～41% 9月② 64～2% 60～6% 50～32% 40～44% 4月① 64～3% 60～3% 50～27% 40～53% さらに良い学習環境づくりを工夫していきたい。 発達段階を意識し、啓発を行い具体的に目標を持たせたい。</p> <p>②J3 日頃の努力の成果を確実に発揮した者もいた。一方では準備不足が明らかに目立つ者も多少見られた。学習環境づくりや日々のトレーニングなどについて改めて振り返り、次の一步を踏み出させていきたい。</p> <p>J2 概ね例年同様だが既習事項に対してできる範囲内で解答できている。学習環境づくりによく留意し、3年次の学習計画をたて、目標を成果を意識した学習に取り組ませていきたい。</p> <p>③</p> <table border="1"> <tr> <td>J3</td> <td>2級</td> <td>準2級</td> <td>3級</td> <td>4級</td> <td>5級</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>4(12)%</td> <td>18(24)%</td> <td>38(37)%</td> <td>21(15)%</td> <td>13(10)%</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>1(6)%</td> <td>14(25)%</td> <td>40(37)%</td> <td>26(16)%</td> <td>13(13)%</td> </tr> </table> <p>昨年に比べ上位級の層が薄くなったが、全体的な底上げは徐々に進んだ。準1/1級取得者はなし。</p> <table border="1"> <tr> <td>J2</td> <td>2級</td> <td>準2級</td> <td>3級</td> <td>4級</td> <td>5級</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>1(1)%</td> <td>16(9)%</td> <td>27(32)%</td> <td>25(44)%</td> <td>10(16)%</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>0(1)%</td> <td>6(3)%</td> <td>18(27)%</td> <td>31(47)%</td> <td>22(17)%</td> </tr> </table> <p>通年底上げが進み、後半中上位層のモチベーションも上がってきた。全体で一層盛り上がっていく環境を工夫していきたい。</p>	J3	2級	準2級	3級	4級	5級	2月	4(12)%	18(24)%	38(37)%	21(15)%	13(10)%	10月	1(6)%	14(25)%	40(37)%	26(16)%	13(13)%	J2	2級	準2級	3級	4級	5級	2月	1(1)%	16(9)%	27(32)%	25(44)%	10(16)%	10月	0(1)%	6(3)%	18(27)%	31(47)%	22(17)%	<p>A 27% B 55% C 11% D 7%</p> <p>・外部模試の結果を把握して、生徒の学力向上に担任がアドバイスをしている様子が見られる。</p> <p>◇国語、数学、英語のみの外部模試であるが、理科、社会の実力テストも実施できたらしたい。</p> <p>◇外部模試での結果を高校にも広く開示し、全校で中学の学力向上に協力すべきである。</p> <p>・ベネッセテストや英語検定を受験することで、個別の問題把握ができる。</p> <p>・進研ベネッセ模試等/の結果を、生徒各自がさらに理解する指導が不可欠である。</p>	<p>A 0% B 88% C 0% D 12%</p> <p>・英検受験に意欲向上や学校が会場校であるところがよいと思う。</p> <p>◇中学生のうちから外部模試の結果を客観的に把握することは、将来の進学のためにはとても重要なことだと思う。担任がアドバイスをしているようだが、生徒自身も主体的に理解できていけるように指導をお願いしたい。</p> <p>・外部模試により弱点がわかり、具体的な対策を立てる事ができ、さらに努力するきっかけに繋がると思う。先生方のアドバイス・フォローは生徒にとって心強い。</p> <p>・英検受験について底上げが進んでいることは先生方の指導によるところが大きい。</p> <p>・外部模試のとり入れは学習意欲の向上に繋がる。</p>
	64以上	60以上	50以上	40以上																																																																							
J3	1(3)%	6(5)%	30(21)%	48(38)%																																																																							
J2	3(3)%	6(4)%	32(24)%	45(40)%																																																																							
J1	3(5)%	4(8)%	32(26)%	40(55)%																																																																							
J3	準2級以上	19(14)%	3級	39(46)%																																																																							
J2	3級以上	29(40)%	4級	43(35)%																																																																							
J1	4級以上	32(35)%	5級	45(45)%																																																																							
J3	2級	準2級	3級	4級	5級																																																																						
2月	4(12)%	18(24)%	38(37)%	21(15)%	13(10)%																																																																						
10月	1(6)%	14(25)%	40(37)%	26(16)%	13(13)%																																																																						
J2	2級	準2級	3級	4級	5級																																																																						
2月	1(1)%	16(9)%	27(32)%	25(44)%	10(16)%																																																																						
10月	0(1)%	6(3)%	18(27)%	31(47)%	22(17)%																																																																						

	外部模試等で 学力把握		J1 2級 準2級 3級 4級 5級 2月 0(0)% 3(0)% 17(14)% 35(25)% 38(32)% 10月 0(0)% 2(0)% 6(7)% 34(19)% 39(35)% 通年受験意欲が良く、結果も出ている。功を焦ることないようにしたい。1級取得者あり(2%)。				
		④ 各試験結果受取後の一斉学級/学年指導 情報や目標の共有 (中学部・高等部・教科担当)	④ 現状把握と対策について、教科担任と学年職員の間 に距離が出ないように注意し、同じ目標に向かっていく 姿勢がどうか振り返ってみたい。				
一 知 育 の 推 進	生きる力や総合 力をはぐくむ活 動の設定	① 学習・体験活動等とその目標成果の整理・ 広報・見える化・発表等を通し、主体性、総合力 育成の場とする 行事ごとの一斉指導 手立ての引き継ぎ ・MIRAI Project キャリア教育推進 全学年 後期より 配当時間増加 ・体験入学会運営と校内ツアー実施 J2 6月 ・説明会のプレゼン担当や体験学習会の講師 /助手 内進生 J1～S1 通年 ② 実行委員会を組織した委員会・生徒活動 主体的な目標設定・協働充実 リーダーシップ・フォロアーシップ育成 ③ 発達段階や興味を踏まえ、朝読書を奨励する ビブリオバトル等発展的活動の取り組み 成果のアウトプットと共有、周知により 自己分析と他者の理解を促進	① 自己振りかえりシートを通年で活用した。活用の度 合いは学年により多少異なった。行事レポートの内容に ついては、自己の考察の部分がさらに必要であると思え る。事前事後指導によるところが大きい。 活動発表の場はMIRAI Project が最大の発表ステー ジに拡充成長した。学年内の中間発表から、J2J3の合同発 表及びJ1の0/L受信を実施 J1の母校訪問は全方位的な学びの機会となった。今年 度も時期手だてなど段取りよく実施できた。この事後指 導の見える化を行っていくことも有効だと思う。J2の中 学体験入学ツアーでは小学生たちを明朗かつ気配り良く 引率説明することができた。事後指導で振り返りをよく 行わせ内容や手立てと共に、いかに明誠ファンをつくるか検 討してきたい。 説明会や体験学習会で登壇したり、講師助手として活 躍したり、有志活動が積極的安定的に取り組まれた。生 徒の独創性や視野も拡大した。後輩や下級生の模範とし ての役割もよく果たした。 ② 中学生徒会の取り組みが行事や園芸等を主に継続的 に実践された。3送会(3月)など自発的に取り組んだ。 他委員会への呼びかけも期待される。 ③ 読書が習慣化し、休み時間等においても読書をして いる生徒を見かける。上級生の姿は下級生にとって範と なり、全体に良い影響をもたらしている。この点は昨年 度より若干向上している。次のステップの施策は途上で ある。	A 33% B 53% C 7% D 7%	・多彩な催しなど、充実した取り組みがなされている と思う。 ◇MDの年間スケジュールを事前に作成し、生徒と保 護者に配布しておくと思えばと考える。 ・学校行事を通じ、生徒たちは成長している。 ◇心のセミナー等さらに命の尊さ、生きる尊厳等、保 健室と連携し推し進めていく必要があるのでは…。	A 11% B 78% C 0% D 11%	・学校行事がたくさんあることは良い。 ・中学体験ツアーでの小学生達への引率説明が、 明朗で、気配りが良かったことは素晴らしく、将 来、明誠中学を目指す児童の増加に期待ができそ うで喜ばしい。 ◇心のセミナー等、命の尊さ、生きる尊厳の理解 を推し進める必要性を説くのはどういう状況なの か気になる。もし、その必要があるのであれば、 何よりも優先すべきだ。 ・行事の内容が充実しており中学から貴重な体験 ができるのは良い。社会に出たときに必要な力を 育てることに繋がる。 ・中学時代からの読書の習慣は一生の宝である。 これからもご指導いただきたい。
	日本文化理解と 国際教養養成 (総合学習)	① 日本文化理解行事实施【(2)回/年】 J1 自然体験、富士山学習、地域探訪 J2 寺社宿泊研修、企業/都市探訪 J3 寺社・精神文化調べ、企業研修、 地域・古都研修 目的理解と個々のテーマの設定	① J1 4月国立中央青少年交流の家研修、10月竜ヶ岩 洞、フラワーパーク、エアーパーク、浜松城・大河ド ラマ館等探訪。昨年度県西部が復活し、時宜良く徳川 関連の研修を取り入れた。 J2 4月可睡齋宿泊研修。10月東京・横浜オータムキ ャンプ、		・行事を通じて実施できていると思う。 ▲日本文化講座について要検討である。 ・国際教養コースの高校生のお話を聞く機会や、留学生 との交流機会を設けてみてはどうか？		◇国際教養コースの高校生との交流や英会話での 交流を推し進めてはどうか。 ・たくさんの体験が出来て良い。 ・体験を通して日本文化を学ぶ場があるのは、楽 しさもあり前向きに取り組めると思う。

	<p>日本文化理解と国際教養養成 (総合学習)</p>	<p>② 講演や交流会の実施・探求活動 J1 郷土・企業 J2 医療・企業・進路 J3 医療・企業・進路 自己分析と展望</p> <p>③ 英会話授業【週1回】とアウトプット実践 「Metro」の計画的活用 J1～J3</p> <p>④ 禅寺の活用 学校理解の促進とヒントの獲得</p> <p>⑤ 日本文化・国際教養講話／講演実施</p>	<p>1日目科学技術館(千代田区)、JICA(市ヶ谷)、東京大学(文京区)卒業生講演(2名)、アジュール竹芝宿泊テーブルマナー学習(文京区)、 2日目産官学マッチングサポート、中華街昼食、日本新聞館(中区)見学。卒業生講演2名招待は初めてだった。JMU(造船)研修がなくなり、マッチングサポートで国連WFP協会、神奈川県住宅供給公社、横浜環境保全(株)など見学し、選択肢を拡大した。</p> <p>J3 4月浜松城・大河ドラマ館、フラワーパーク、中田島砂丘探訪。10月関西修学旅行 往復のバスは2台に変更。目的地は厳選し行程に余裕を持たせた。食事は一部部屋食を採用した。今年度も班研修はタクシーを利用した(4年目)。自己研鑽と協働の要素がもっと盛り込めるとよいと思う。</p> <p>② J1 7月母校(校長先生)訪問、10月竜ヶ岩洞探訪、エアパーク、浜松城、10月「違法薬物について」警察・学校薬剤師による講演 J2 10月「違法薬物について」警察・学校薬剤師による講演、10月OB東大生進路研修・公的機関公共サービス研修、1月「MIRAI Project」JTBによる講評、「同インターン体験」発表・講評 J3 10月「違法薬物について」、1月「MIRAI Project」J2と共通体験、3月S3卒業生進路講演 「MIRAI Project」はJ2J3の同時展開を行い、最終の発表も合同で行い、J1はO/L視聴を試みた。概ね意欲的に取り組むことができ各面意味のある共通体験となった。テーマと発表や講評の段取り等について検討を重ねることによりさらにより学びになっていくと思う。</p> <p>③ TT授業で教科書章末スピーチ指導を実施。昨年度より反復学習面を重視した。</p> <p>④ J2 4月可睡斎宿泊研修実施。学校生活や行事等へ研修成果を活用することを継続的に配慮していきたい。</p> <p>⑤ 各学年の主要行事中の講義や説明を通して教養を高める機会を確保。</p>	<p>A 24% B 59% C 7% D 10%</p>		<p>A 0% B 77% C 0% D 23%</p>	<p>・中高一貫校なので高校の国際教養コースの先輩から直接話を聞ける機会があれば、本人にとって参考となり進路についても意識を高めることができる。</p>
<p>☐ 德育の充実</p>	<p>基本的生活習慣の確立・理解と自己評価</p>	<p>① 身だしなみと挨拶の指導 校風検査【1回/月】 事前事後指導の充実</p>	<p>① 意識づけを集会指導で継続的に実施していきたい。月例校風検査は男女別で継続実施。頭髪以外は担任によるフォロー指導を行った(2年目)。頭髪、つめの指導ムラに留意したい。また、各ボタンやネームなど指導が後手に回らないようにも注意。</p>		<p>・教室の清掃・整頓については年間で改善されている。服装なども整っている。挨拶がさらに向上することを望む。</p>		<p>・中学の時からしっかりと身だしなみを指導していくことは大事。 ・服装がきちんとしているのはとても好感が持てる。</p>

<p>基本的生活習慣の確立・理解と自己評価</p>	<p>② TPOに合わせた所作・マナー・授業態度等を発達段階をふまえて指導検証する。打合せ、部会等にて情報交換し一斉指導の手立てを共有する。</p> <p>③ 私物貴重品管理 整理整頓・清掃指導の徹底 振り返り：なぜ必要かを理解</p> <p>④ 欠席・遅刻・早退の減少 基本的生活習慣の充実 振り返り：なぜ必要かを理解</p> <p>⑤ 基本的生活習慣近況について情報発信共有 家庭や学校全体の現状確認と指導力充実 生徒の自尊感情向上</p>	<p>② SNS対策や人間関係等の対応に関してトラブルの芽をよく摘んだ。学習や身だしなみの指導に関しては多少後手に回った観もある。中高一貫の意義を踏まえ、対面指導を即実践したい。</p> <p>③ 概ね適切に指導を継続することができたものの、生徒の日常生活には隙が多少あり、トラブルはいつでも起こりうることは事実である。油断することなく私物管理と啓発注意を行っていききたい。</p> <p>④ 前期は欠席等一部目立つものの、概ね良好であったが、後期においては流感やコロナ等の影響で増加傾向に転じた。目標や生活習慣など基本的な部分の振り返りや確認等も必要ではないかと強く感じるがあった。</p> <p>⑤ 各種アンケート、明誠ダイアリー等からの情報即共有し対策を講じた。中学部通信においても多少、学校生活の情報を伝えた。</p>	<p>A 30%</p> <p>B 54%</p> <p>C 7%</p> <p>D 9%</p>	<p>・明誠ダイアリーを毎週提出する習慣が生徒間で身に付きつつある。</p> <p>・生活習慣が崩れつつある？生徒もいるが、おおむねしっかりとできている。</p> <p>・学校行事等を利用して、さらなる帰属意識の感化が不可欠である。</p> <p>▲挨拶がまだ不十分である。</p> <p>・不登校や休みがちな生徒が多い。</p> <p>▲担任と保護者のつながりより、部活顧問と保護者のつながりが優位になっている気がする。</p>	<p>A 0%</p> <p>B 66%</p> <p>C 11%</p> <p>D 23%</p>	<p>・身だしなみは良いと思う。</p> <p>▲挨拶はコミュニケーションの基本でもあるので今のうちから十分に指導すべき。</p> <p>・思春期の恥じらいを持つ年頃にしては挨拶ができていこうだと思ふ。</p> <p>◇トラブルの芽のうちに摘めたのは良かったが、件数がもし多いのであれば分析を行い、事前に対処できることがあれば、対処してほしい。</p> <p>・不登校の生徒や休みがちな生徒への対応はどうか。</p>
<p>特設道徳や実践的生徒指導の機会充実</p>	<p>① 本校理念の浸透、一斉道徳講話実施【6回】 集会実施【3回】</p> <p>② ボランティアの実施</p> <p>③ 自律性と社会性を培う場を設定し、実践力行動力向上を図る リーダーシップ・フォロワーシップ涵養</p> <p>④ 交通安全マナーの指導と実践 交通安全教室実施</p> <p>⑤ 道徳教科書ノートを年間計画で使用 振り返りをし、共有する。</p> <p>⑥ 情報端末使用時の人権問題啓発指導 講演や集会実施</p> <p>⑦ 「いじめ」皆無の指導【調査3回/年】 三配りの精神の涵養</p>	<p>① 1年合同実施3回、全学年合同実施3回を計画通り実施した。</p> <p>② 全員参加の取り組みは未実施。継続的に入試関連行事に登壇したり、有志の積極的な活動を行う生徒もいた。</p> <p>③ 主要行事の他に、中学入試関連行事・MIRAI Project探求活動等において自主的にチームワークを意識し活動することができた。</p> <p>④ 5月に警察による交通安全教室を体育館で座学を実施。前年度踏襲。同月交通安全展示を1F玄関ホールにて実施し、啓発を行った。</p> <p>⑤ 教科書・ノートの活用が弱まった。学習項目を満遍なく指導していききたい。</p> <p>⑥ 人権問題（主に対人関係）についての啓発や昨年度の反省を活かし端末の取り扱いのルールを徹底した。特に盗撮や録音、指示以外の時には端末は取り出さないなどの注意事項について指導を高めた。</p> <p>⑦ 「いじめアンケート」と「生活アンケート」を実施し、臨機応変に密な生徒指導をおこなうことができた。</p>	<p>A 25%</p> <p>B 53%</p> <p>C 12%</p> <p>D 10%</p>	<p>・学年が上がるにつれ行動が落ち着いてくる。しっかりとした道徳教育を行っていると思う。</p> <p>・中学部の全体道徳にて生徒の活動や功績をたたえることで励みになっている。</p> <p>・学年や中学部全体での後押しが不可欠である。</p> <p>・倫理観を持って生活できている。</p> <p>▲生徒指導に追われている傾向がある。</p> <p>◇自転車通学者が校内で自転車に乗らないよう啓発指導していききたい。</p>	<p>A 0%</p> <p>B 89%</p> <p>C 0%</p> <p>D 11%</p>	<p>▲自転車の指導は中学の時からしっかりしておいた方が良い。</p> <p>・計画通りに道徳教育が行われ、活動内容や功績が称えられることで励みにつながっていることは、とても良い。</p> <p>・方策について確り実施されていると察する。</p> <p>◇交通安全については自転車運転中の「ながらスマホ」の罰則強化も始まる。今後も注意喚起をおこなってほしい。</p>

		⑧ 成果や仲長について情報発信 現状把握と指導力向上	集会指導を通して三配りの精神について啓発を計画的に実施できた。即効薬としてではなく、長い目で取り組んでいきたい。				
個の尊重と主体性の醸成	① 情報交換で個の把握 ② メイセイダイアリの点検、熟読とコメント ③ 養護・カウンセラー・生徒課等チームの活用 ④ 生徒理解研修会 【全職員で実施】 成長面・プラス面等伝達 データ共有 ⑤ 心理検査の実施と評価の活用 ⑥ 随時良い点や現れ・変化をフィードバック、 全体で共有	① 日常のかつ定期的に情報交換し、迅速な指導を心掛けた。タイムリーに対応し、個人の尊重に配慮した。 ② 生活帳を活用し、意思疎通や問題解決に活かした。時宜良く点検を試みたい。 ③ カウンセリングをコンスタントに活用し、個別指導に活かした。外部組織の知見を活かし、指導の精度を向上させた。 ④ 生活や行動のあらわれを共有し生徒理解と指導の向上に努めた。中高一貫の生徒指導を意識していきたい。 ⑤ 検査は今年度も採用しなかった。各生活アンケートなどを活用し、生徒の様子を複合的に理解することに努めた。これらの情報の共有がとりわけ功を奏したと考える。 ⑥ 職員間や家庭と学校間のコミュニケーションの確保に注意し、情報を共有し、対応できるよう努めた。	A 26% B 55% C 9% D 10%	・発表や主張をする場面が多くなってきている。 ・日頃から担任を中心に行っている。フットワークを良くして、共通理解を教員間でさらに持てればと思う。	A 0% B 78% C 0% D 22%	・生徒を見守り、周囲との情報共有連携を取りながら対応していることが分かる。 ・生徒にとって発表や主張をすることが増えれば、自信がつくと思う。	
健康な身体の育成	① スポーツデイ実施 【参加率95%以上、(2)回/年】 相手・チームメイト・周囲への理解・敬意・調和と切磋琢磨 ② 耐寒持久走取り組みによる身心の錬磨 事前の安定した生活習慣・体育での的確な準備・啓発 【参加率95%以上】 ③ 体育大会を活用し、 チームワーク醸成・団体種目の記録向上	① 7月 中学部運動会形式は今回は控え、サッカー(男子)やドッジボール(女子)を実施した。参加率は約96%、全学年男女とも熱心に取り組んだ。3月同様にサッカー(男子)とドッジボール(女子)を実施した。参加率目標達成。 ② 栃山川土手コースにて実施。J2の欠席が多少目立ったが、全体としては約90%の参加率であった。女子の割合が増えたため1組男子、2組男子・・・などのような4集団編成に変更した。 ③ 中高体育大会では行進が簡略された(3年目)。制限は解かれた。少し遠慮が残りつつも元気が戻ってきた。できる範囲内で各種競技は行われていると感じる。中学生も元気に取り組んでいたと思う。	A 49% B 40% C 4% D 7%	・現状で良いと思われる。 ・熱心に参加しているように思える。 ・高校生と合同の行事、中学生独自の行事など、生徒たちが生き生きと取り組んでいる。 ・中学校独自の行事、中高合同の行事と生徒にとっては、体験が多くなる。	A 78% B 22% C % D %	・中高合同の行事などは全体的に盛り上がるので良い。 ・スポーツデイや体育大会に元気で熱心に取り組めたのはとても良い。 ・人気のある球技の実施で参加率が高い。 ・団体行動をする中での学びは大切。 ・ダンスデイではJ3中心に円滑に運営できていると感じた。 ・文武両道は明誠の良いところである。	

	<p>団体行事の用意 団体行動や 行事運営の基本 も学習</p>	<p>④ 武道奨励 時数の確保 武道実施ねらいの理解と浸透</p> <p>⑤ 部活動奨励 【参加率 85%以上】</p> <p>⑥ ダンスデイ実施 明朗快活爽やかで、円滑かつ規律ある運行 周囲への理解と感謝の気持ち 創意工夫 【参加率 95%以上】</p>	<p>④ 男子は武道の取り組みとして柔道を実施した。柔道衣は着用しない。ねらいの理解と浸透について引き続き検討していきたい。</p> <p>⑤ 個性を伸ばさせつつ、集団育成する好機として参加を促している。 加入率： J11: 84%, J12: 90%, J21: 94%, J22: 100%, J31: 92%, J32: 95%, 全体：92.5% 前年度より 1,5%減少。 前年度より数%減少したものの概ね参加意欲は良好である。(部/本人によって活動率が低い場合もある)</p> <p>⑥ 11月予定通り実施。参観者は開催中110名超でまずまず盛況だった。 J3 中心に役割分担を行い、終始円滑に会を運営していった。節度を適度に保ち活発に演技と鑑賞を楽しむことができた。昨年同様前後の挨拶をきちんと実行した方よい。授業であることをふまえ、事前事後指導を行いたい。</p>		
<p>≧ 豊かな生活の追求</p>	<p>特別活動や課外活動の準備と充実</p>	<p>① キャリア教育の一斉の主体的計画的取り組み 探求:MIRAI Project 特活・MD内に設定</p> <p>② 青藍祭に、部・学年・学級で参加 創意工夫し、実践力を磨く場とする。 リーダーシップ・フォロワーシップ涵養 展示物には価値観教育への成果を記す。</p> <p>③ フィールドワーク【(2)回/年】、芸術鑑賞 自身の思考力や発想力向上に資する体験 学習を行う。 事前事後指導の充実</p> <p>④ 行事や活動のまとめと発表・展示 学びについて自己分析し、学校・日常生活の 改善に向けてヒントを得る。</p>	<p>① 11月から「総合」の時間を十数～時間配当し探求活動を実施。各学年は10グループに分かれ、模擬インターン体験を行いつつ課題を解決方法を考え、スライドにまとめた。G/Wによる探求活動に拍車がかかった。</p> <p>② J1はオリエンテーションキャンプ、J2は可睡齋の展示をおこなった。J3はアトラクションを展開。昨年度踏襲の活動となった。</p> <p>③ 4月と10月に予定通り各学年行事を実施した。事前指導で深めておくことが重要だが、若干後手になっている傾向を感じる、マンネリ化しないよう都度でいぬいな考察が求められる。芸術鑑賞教室ではスターライツによるゴスペルヴォーカルライブが行われた。ゴスペルというほとんど関わりのない分野の生演奏を体験し、新たに興味関心を引き起こしたのではないかと思う。</p> <p>④ ワークシートによる掲示を計画手に実施。またクロームブックを使用し、プレゼンを積極的に作成し、G/Wのアウトプットの機会は増加した。掲示物として公に見える化することもやはり大事なことでありと今年度は逆に思った。</p>	<p>A 29%</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B 54%</p> <p>C 6%</p> <p>D 11%</p> <p>・外部への発信や、保護者との協力も不可欠であると思う。</p> <p>・様々な活動に取り組んでいる。</p>	<p>A 11%</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B 78%</p> <p>C %</p> <p>D 11%</p> <p>・いろいろな体験ができて良いと思う。</p> <p>・プレゼンテーションをすることは、資料の作成から発表まで様々な努力を必要とするが、やりとげることはとても良い経験になると思う。継続してほしい。</p> <p>・個人ばかりではなくグループで活動することでお互いに良い刺激を受け、生徒の成長につながる。</p> <p>・同学年ばかりではなく他学年の生徒と活動交流ができることは有意義である。</p>

	<p>特別活動や課外活動の準備と充実</p>	<p>⑤ 学習集団の向上（行事・授業等活用） プレゼンや議論を活かし、洞察力、コミュニケーション力や創意工夫する力を上げる。 学年混成集団で活動することにより、自他への関心を深め、共通体験の価値の理解を深める。</p> <p>⑥ 各種団体の文芸コンテストに参加 想像力を発揮し、自他の理解を深める。</p> <p>⑦ 自尊感情や自己有用感を高め、学び合う仲間であることを自覚する。 帰属意識を得る。</p>	<p>⑤ 一つ一つの活動の重点目標の繋がりを踏まえ、年間の運営を意識することにより、年間を通して育てる生徒像を明確に学年と部で共通認識しておく必要がある。探求活動において他学年と共通でプレゼンを実施したことは大きな意義があったと思う。発達段階を意識し、手立てをさらに練っていくことにより一層よい学びになると思う。生徒の生きる力向上に寄与するのではないかと思う。</p> <p>⑥ 定番のコンテスト等は参加を継続していきたい。良い作品を発表鑑賞する機会を設けていきたい。</p> <p>⑦ ワークシートの活用をさらに工夫し、自己分析を一層おこなわせたい。年三回の生活アンケートにおいても生徒は正直に振り返りをおこなっている。それらをどのように生徒たちにフィードバックし、育成していくかを教員のやりがいのひとつにしていきたい。</p>				
--	------------------------	---	---	--	--	--	--

<p>V 家 庭 ・ 地 域 と の 連 携</p>	<p>コミュニケーションの増加</p>	<p>① 面談の奨励（希望面談も用意）【4回／年】</p> <p>② 懇談会・保護者会等実施</p> <p>③ 行事関係文書・アンケート等配布・配信【2週間以上前】</p> <p>④ 内進高校生の情報も含め生徒・中学部近況の発信 授業配信</p>	<p>① 4月新年度個別面談、7・8月夏休み三者面談、11月個別面談、6・11月オープンキャンパス期間希望面談、11月～2月適宜個別面談による進級指導等実施。 特にJ3に関して高校進級指導を念入りに実施。 カウンセラー・養護教諭と連携し、家庭とのコミュニケーションにも注意した。</p> <p>② 6月地区別懇談会（交通安全対策・夏期の準備） 9月 J3 修学旅行説明会、11月 J3 進学説明会 2月 学年学級懇談会 参加率5～7割前後</p> <p>③ 各行事2週間前後前に通知を配布。さくら連絡網による通知は常套手段として活用した。</p> <p>④ 3月J2J3対象に大学進学の基本や現状について進路課長より説明した。 目標の再確認と進路意識の高揚を図った。 内進生の進路啓発機会は早期から発達段階をふまえて確保したい。</p>	<p>A 30% B 51% C 9% D 10%</p> <p>・相談などに対し、丁寧な対応をされていることが日々うかがえる。</p> <p>・家庭連絡を密にできている。</p> <p>・家庭との連携はかなりできているように思うが、地域との連携はどうか。</p> <p>◇地元との地域連携が学校行事として持てればと思う。</p> <p>◇保護者の要望への対応を適切に行いたい。</p> <p>◇保護者が学校へ理解を示してくれるよう、懇談会よりももう少し気軽な対話の場を設けた方がよいと考える。 ▲地域との対話の事例が少ない。もしくはアピールできていない。</p>	<p>A 22% B 56% C % D 22%</p> <p>・さくら連絡網を使ってこまめに情報が流されると助かる。</p> <p>・連絡網を使いテスト結果を配信する学校もある。</p> <p>・さくら連絡網は学校から保護者に確実に直接連絡が届く大変便利なツールだと思う。</p> <p>・中学生のような年代の子供は配布文書を親に渡さなくなりがちでありとても助かる。</p> <p>◇引き続きさくら連絡網の利活用を推進してもらいたい。</p> <p>◇家庭との連携が上手く取れているのは良い。地域との連携については一歩踏み込んだ取り組みが必要になってくると思う。</p>
--	---------------------	---	--	--	--

V 家庭・地域との連携	広報活動の充実	<p>① 中学部通信等の発行【月次】</p> <p>② さくら連絡網・SNSの活用 課題学習状況の確認</p> <p>③ オープンキャンパスや説明会等でのアンケート実施</p> <p>④ 行事や発表会の開放</p>	<p>① 月ごとに担当を決め、近況を伝えながら、啓発と学校理解を促進した。</p> <p>② お知らせの配信や平時の連絡手段としても良く機能した。</p> <p>③ o/c アンケート内の各意見・提案や質問に対し適切に対応した。参加率は50%弱であった。</p> <p>④ 青藍祭、体育大会、ダンスデイ、持久走会などについて開放。ダンスデイは盛況だった。、フィールドワークのプレゼンは未実施。MIRAI Projectの発表等探究活動の成果発表の機会について検討していきたい。</p>	<p>A 23% B 53% C 17% D 7%</p> <p>・学校リーフレットなど、毎年更新されていて、学校の様子が分かりやすい。</p> <p>◇中学生の活躍を外に発信していきたい。</p> <p>◇広報の方法を再検討する時期だと思う。</p> <p>◇昨年度よりも向上が見られるものの、さらに学校HPを活用して、日常の様子が発信できればと思う。</p>	<p>A 11% B 67% C 0% D 22%</p> <p>◇学校HPだけでなく、SNSを活用することも検討した方が良いと思う。</p> <p>▲現在は子供世代だけでなく親の世代でもSNSは広まっており、広報の手段として有効だと思う。</p> <p>・リーフレット等が毎年更新されているのは良い。</p>
VI 生徒募集	渉外活動の充実	<p>① 各行事の推進とフォロー作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明会 現役生徒の活用 アンケート結果の活用（改善・FB・PR等） ・半日体験入学 J2生徒の活用 ・理科／英語体験学習会 現役生徒の活用 ・講習会 5教科展開 ・オープンテスト ・名簿の整理、DMの活用 <p>※実績数（ ）内数値は昨年度の数値を表す</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明会 5/13:50(40)名、6/24:63(61)、7/29:49(76)、8/5:70(85)、8/26:34(50)、10/7:85(84)、11/3:100(50)、11/12:8(110) <p>昨年度同様オープンテストや体験学習会と同時開催した。また、生徒を登壇させ保護者に訴えかけた。今年度は最後の2回は新規に入試説明会、直前相談会の順序で実施したため、実績が目立って相違している。延べ数では夏休み中と最後2回の影響でトータルの来校者数は減少した。 前年比 83%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年理科体験学習会 8/26：32(37)名 前年比 86% <p>・講習会</p> <ul style="list-style-type: none"> ①9/13：49(49)名、同時期実施 ②10/18：58(59)名、同時期実施 前年比 99% <p>・オープン</p> <ul style="list-style-type: none"> ①8/5：83(85)名、同時期実施 ②10/7：96(81)名、 ③11/3：92(84)名、同時期実施 前年比 108% 	<p>A 30% B 49% C 12% D 9%</p> <p>・体験授業、オープンテスト等、充実していると思う。</p> <p>◇オープンテストは数を減らした方がいいと思う。2回か1回にして、解説や説明会を充実させた方が、指導力のアピールになり、その向きで惹きつけるのはどうか。</p> <p>・体験学習会やオープンテストなど、受験にかかわる活動がたくさん用意されていて良い。</p> <p>◇放課後や休日に教員だけ残して説明会を行うのではなく、土曜日の授業をオンラインで小学生に見せるなど、明誠中学校の活動に即した学校説明会をするべきだと思う。</p> <p>・外部からどのように見えているのかを知りたい。</p> <p>▲講習会やオープンテストの受講者が減っている理由を分析すべき。</p> <p>◇学校HPや、明誠便りや進路情報等をさらにフル活用することが必要と思われる。</p>	<p>A 12% B 67% C 0% D 22%</p> <p>◇小学生のうちから興味喚起させる機会をいろいろ設けるとよい。何か掘り下げていくものが必要なのだと思う。</p> <p>◇土曜日の授業等オンラインで小学生に見せたらどうか。</p> <p>・学校案内はわかりやすい、また見やすくよいと思う。</p> <p>◇引き続き学校理解と母集団のクオリティ向上を目指し活動を推進してもらいたい。</p>

VI 生 徒 募 集	渉外活動の充実	<p>② 小学校や塾への渉外活動</p> <p>③ 各種行事の活用</p> <p>④ リーフレット・ポスター作成 グッズの活用</p>	<p>・入試 一次 75 (79) 名 : 単 63 (58) 併 12 (21) 二次 2 (5) 名 : 単 2 (5) 前年比 92%</p> <p>募集定員 70 名になり 6 年目、65(62)名入学予定。併願が 9 名減少。単願率が 84(75)%で、一昨年度並みに戻った。女子は 42(52)%に減少した。受験者数は若干減少したが、単願率が回復し、併願生の戻りが 4 名いたことにより、入学者数は若干増加した(手続き後 1 名辞退)。受験者数・単願者数の増加が望まれる。</p> <p>・4・5 年説明会 7/29 (土) : 49(76)名 三週間繰延 11/25 (土) : 約 50(50)名 ひと月繰延 2/10 (土) : 約 100(100)名 二週間繰上</p> <p>・4・5 年体験学習会 7/29 (土) : 50(67)名 理科 前年比 75% 11/25 (土) : 49(36)名 英語 前年比 136% 2/10 (土) : 88(94)名 理科 前年比 94% 実施日時、各学年の来校者等注意していく必要がある。</p> <p>② 小学校訪問約 100 校。 5・6 月(学園祭前)・7 月(理科体験前)・10 月(英語体験前)・2 月(理科体験前)等を基本として訪問した。5 月は訪問約束を行った上訪問した。 志榛・小笠・静岡地区諸々の塾を訪問。「学校案内」・「入試行事リーフレット」・学園祭/体験学習案内・通学バス案内・通学費補助案内・過去問題等配布。また行事の都度 DM を送付</p> <p>③ 学園祭、定期演奏会等学校関係者に対して招待した。</p> <p>④ 入試行事年間予定リーフレット、各種リーフ(講習会・オープンテスト・体験学習会・通学補助支給等)をひと月以上前から配布ないし送付した。体験学習会用自家製ポスターを校内外で適時掲示推進した。今年度より中学校の学校案内を作成活用した。</p>		
------------------------	---------	---	--	--	--

<p>Ⅶ 教 育 施 設 ・ 設 備 の 活 用</p>	<p>快適な教育環境 の実現</p>	<p>① 教室内外整理整頓、施錠管理、 電源管理の徹底、 管理目的の理解 【放課後巡回 複数回/日】</p> <p>② 駐輪場管理、 管理目的の理解</p> <p>③ 設備・備品の保全 【放課後巡回 複数回/日】</p> <p>④ 防災教育と訓練の実施 【2回/年】</p>	<p>① 通年整理整頓の指導を継続することができた。一方テスト中や実技の道具や作品がある時、体験学習の会場になった教室等ロッカー内がすし詰め状態になりやすいが、その際にも整理整頓にはルールがあり、指導をふまえ生徒に実践させる必要がある。 移動教室時の机上片付けや更衣の整頓、電源管理等十分ではないことも課題として残る。 清掃後の雑巾洗いと整頓については注意していきたい。</p> <p>② 今年度は目立った問題等特になく、一年間推移した。自転車使用者数の関係もあると思う。現状把握を怠らず、使用方法について時折注意喚起し、トラブルの予防をしていきたい。</p> <p>③ 不適切な使い方をする生徒はほほいさないものの、清掃用具・備品・用具入れの破損、電源スイッチや壁の破損等時折見られたことについては念頭に置いておく必要がある。 机椅子の保全については昨年度も記載したように、表面の消耗がここ数年で目立って進行している印象を受ける。再び持ち上がり式に戻していくことも検討する必要がある。</p> <p>④ 5・9月防災避難訓練を行い、ともに一次・二次避難訓練実施した。9月には避難経路を変更した。</p>	<p>A 17% B 57% C 16% D 10%</p> <p>・今年、教室のエアコンの改善が見られた。</p> <p>・設備の劣化等に対し、修繕等が迅速に行われていると思う。</p> <p>・エアコンの改修が入って良かった。</p> <p>・通常の活動が、毎日行われているので、汚れることが少ない。</p> <p>・エアコンの不具合・故障でかなりの時間生徒に大変な思いをさせた。応急措置的なことは実施されていた。この夏にエアコンが改修されて良かった。</p> <p>・校舎の老朽化で様々なトラブルが出るが、すぐに対応できている。</p> <p>・空調設備等の取り替え工事がなされたが、抜本的に机や椅子の修繕や取り替え等推し進めて欲しい。</p> <p>◇体育館にも空調設備を設置した方がよい。</p> <p>◇夏季の体育館での集会の実施はとても暑い。教室で放送による実施が望ましい。</p>	<p>A 11% B 67% C 11% D 11%</p> <p>・学習環境の整備は経営に悪い影響を与えない中で最重要課題と思う。空調は特に重要。</p> <p>・今年は以前にも増して夏の暑さ対策には苦慮した。今夏はエアコンの改修が行われ良かった。勉強環境が整っていることは生徒のやる気にもつながる。</p> <p>◇夏場の体育館での行事はいかがなものかと思う。空調設備の設置を願う。</p>
--	------------------------	---	--	--	---